



志賀理江子 (カナリア) より〈ピンクハウス〉2007

# Takamatsu Contemporary

## Art Annual vol.00 Vision of Captured Time 2009 11/20(金) → 12/20(日)

赤松きよ 梅田哲也 off-Nibroll 志賀理江子 しばたゆり

Kiyo AKAMATSU

Tetsuya UMEDA

off-Nibroll

Lieko SHIGA

Yuri SHIBATA



赤松きよ (nontitle) 2004



梅田哲也 (ぬ) 2009  
写真:小西小多郎  
courtesy:the artist and Ota Fine Arts,Tokyo



off-Nibroll (What's Happened at 5:57 AM) 2009



しばたゆり (Material Colors No.41 Lipstick) 2006

## 高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00 —時をつなぐビジョン—

開館時間 9:30~19:00 (火~金) / 9:30~17:00 (土・日・祝) 入室はいずれも閉館30分前まで / 初日は午前10時開展示

休館日 月曜日 (11/23の月曜日は開館 翌11/24の火曜日休館)

観覧料 一般800円 (640円) 高大生500円 (400円) 小中生300円 (240円)

\* ( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金 / 前売りは美術館1階受付、ゆめタウン高松サービスカウンターにて販売

\*65歳以上の方 (長寿手帳等が必要)、身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

\*会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

主催=高松市美術館

後援=朝日新聞高松総局 NHK高松放送局 OHK岡山放送 産経新聞高松支局 山陽新聞社 RSK山陽放送

四国新聞社 KSB瀬戸内海放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 毎日新聞高松支局 読売新聞大阪本社

協力=高松丸亀町商店街振興組合 株式会社喜多猿八

助成=芸術文化振興基金

Takamatsu City Museum of Art  
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250

# Takamatsu Contemporary Art Annual vol.00

Vision of Captured Time 2009 11/20(金)→12/20(日)

## 高松コンテンポラリーアート・アニュアル Vol.00

### —時をつなぐビジョン—

高松市美術館では1988年の開館以来、ワークショップやパフォーマンス、コレクションなどを通して新しい芸術表現を紹介し、評価を得てきました。その成果をふまえた上で、現代アートに対する市民の皆さんの関心の高まりや次の世代の文化を育む必要性に応え、アニュアル形式によるグループ展を開始します。これは、独自性のある優れた活動を行っている作家や将来性のある作家を発掘・紹介することによって、美術・文化の育成に継続的に寄与しアートのさらなる可能性を探るものです。

「第0弾」と位置つけた今回のテーマは「時をつなぐビジョン」です。刻々と消えてゆく「時間」をつなぎとめ、何らかの方法でこの世界に定着させようとする魅力的な作品たちを紹介いたします。もとより芸術表現自体

がそうした記録物としての要素を持ちますが、現在の経済・政治とも不安定な社会情勢においてはますます、自らが生きる時間の中でのかけがえない経験や知覚を、個人という枠を超えて伝え残したいという希求が強まっているでしょう。また、電子的ネットワークの広がりやテクノロジーの変化の中で、時間や記憶に関するこれまでになかったアプローチや表現方法が試みられています。本展では、このテーマにおいてひときわ斬新な制作を行っているアーティスト6名(4名+1ユニット)の作品を展示いたします。

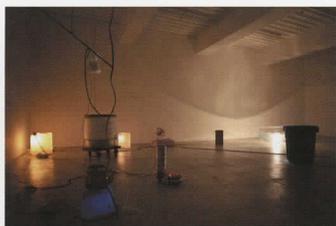
### [出品作家]



#### 赤松きよ

1981年奈良市生まれ、高松育ち。高松工芸高校、武蔵野美術大学彫刻科卒。石膏による立体作品などを制作。07年「アートスパイダー・西村記人展」(香川県文化会館)、08年「人形の・夢・見ゆるひと」(高松市歴史資料館)出品。また、四国新聞連載小説『財田川夏物語』(伊藤健治作)、同『野に咲け、あざみ』(芦原すなお作)の挿絵を描く。

〈イチゴウサギ〉2004



courtesy:the artist and Ota Fine Arts,Tokyo

#### 梅田哲也

1980年熊本県生まれ。日用品や家電を改造した装置と自然現象を組み合わせ、光や音、動きを伴う空間を作り出す。06年「静かぬ」(art space tetra)、08年「門」(ARCUS)、「クリテリウム73」(水戸芸術館)などの個展。国内外の展覧会、音楽フェスティバルに数多く参加。最近では、山本精一、大友良英らとコラボレーションを行う。

〈展示風景:迷信の科学〉2009

#### off-Nibroll (オフ・ニブロール)

パフォーマンス・アーツカンパニー「Nibroll」の振付家・矢内原美邦(1970年愛媛県生まれ)と、映像ディレクター・高橋啓祐(1972年東京都生まれ)が2005年に結成したユニット。空間と映像と身体のコラボレーションの新たな可能性を探る。横浜を拠点に、国内外の多くのフェスティバルに参加。09年展覧会「接触」開催(大原美術館 ～11月15日)。

〈public=un+public〉2005



#### 志賀理江子

1980年愛知県生まれ。05年ロンドン芸術大学チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザイン卒。05年『リリー』、08年『カナリア』のシリーズを発表、鮮烈なイメージで注目を浴びる。大阪、パリ、オスロなどで個展。08年木村伊兵衛写真賞受賞。09年ニューヨークの国際写真センター(ICP)インフィニティ賞で「新進写真家」に選出。

〈カナリアより(私の夫)〉2007

#### しばたゆり

1960年兵庫県生まれ。京都市立芸術大学卒。自己と他者、人とモノとの関係を見つめて制作を続け、『わたしのモノ、わたしとモノ。』『DUST PRINTS』『MATERIAL COLORS』などのシリーズを制作。成羽町美術館、島根県立美術館などで個展。06年「Force of Nature」(ノースキャロライナ、アメリカ)、07年「MOTアニュアル」(東京都現代美術館)出品。

〈展示風景:「ニッポンVS美術」展〉2006  
(大阪市立近代美術館建設準備室)



### 関連イベント

#### off-Nibroll ダンス・パフォーマンス [What's Happened at 5:57 AM]

11月20日(金) 18:00~18:30  
場所:エントランスホール 料金:無料

#### しばたゆり パフォーマンス [MATERIAL WORK-HAIR 2009]

11月21日(土) 13:00~13:20  
場所:展示会場 料金:無料(観覧券が必要)

#### アーティスト・トーク

11月21日(土) 14:00~16:00  
出演者:赤松きよ 梅田哲也 高橋啓祐  
志賀理江子 しばたゆり  
場所:講堂 料金:無料

#### ゲスト・トーク

11月22日(日) 14:00~16:00  
出演者:本展アドバイザー  
秋元雄史(金沢21世紀美術館館長)  
天野一夫(豊田市美術館チーフキュレーター)  
笠原美智子(東京都写真美術館事業企画課長)  
テーマ:[アートとミュージアムの可能性]  
場所:講堂 料金:無料

#### 梅田哲也 サウンド・パフォーマンス[おとり]

11月22日(日) 18:00~19:00  
場所:エントランスホール 料金:無料

#### 担当学芸員によるギャラリートーク

11月28日(土)・12月19日(土) 14:00~  
2階展示室/観覧券が必要

#### 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク

11月29日・12月6日・13日・20日(いずれも日)  
11:00~ 14:00~/2階展示室/観覧券が必要

### その他のイベント・展覧会

#### エントランス・ミニコンサート

12月5日(土) 13:30~14:00 エントランスホール 無料

#### 第3期常設展

10月24日(土)~12月27日(日)  
「パリ、ニューヨークを訪れた香川の作家たち」  
「菫醬と存清」

#### コレクション+(プラス)

メタモルフォーゼ!!!!!! 変身アート  
2月20日(土)~3月28日(日)



#### 交通のご案内

JR 四国 - JR高松駅から南へ徒歩15分  
ことでん - 瓦町駅または片原町駅から徒歩10分  
バス路線 - (レインボー循環バスほか) 紺屋町バス停から徒歩3分  
(まちバス) 丸亀町バス停から徒歩2分  
駐車場 - 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)